

YOUNG BLOOD

仲間の環を広げ 共に未来をきり拓こう！

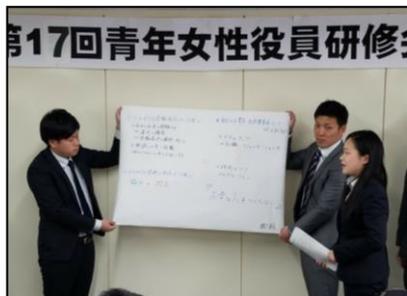
発行責任者：JR連合 青年・女性委員会 議長 新倉 実 編集責任者：幹事 三星 輝之

第17回青年女性役員研修会開催！！

私たちJR連合青年・女性委員会は3月25日（日）～26日（月）にかけて都内にある連合会館において「民主化闘争」をテーマのもと「第17回青年・女性役員研修会」に全国の役員、総勢37名で参画しました。1日目の冒頭にはJR連合中山組織・政治部長から国鉄から分割・民営化を経て、今日に至るまでのJR労働界の変遷とJR総連に相当浸透していると、政府が見解を示す革マル派（極左暴力集団）について講義を受けました。次にJRイーストユニオンの菅野中央執行委員長をお招きし、JR東労組（JR総連）が起こした2つの悲惨な事件、「浦和電車区事件」、「三鷹電車区事件」についてお話を受けました。この2つの事件は他労組組合員と交流をした組合員を糾弾し徹底的に吊るし上げ、脱退、退職へと追い込んだ事件です。これは平和共存否定、積極攻撃型組織防衛を象徴した非人道的な事件であり、JR東労組の異常性の特異な体質が露わになった事件です。また、今もなお大量脱退が相次ぐJR東労組の現状とその背景についてもお話を伺うことが出来ました。1日目の最後にはJR連合松岡会長から国鉄改革時のJR労働界、JR連合結成に至るまでを国鉄の経営状況、当時の労働運動の状況を交えながら講義を受けました。

2日目には前日の講義をグループ内で振り返り、民主化当該単組であるJR北労組、貨物鉄産労の現状について話し合いました。また「JR東労組の大量脱退がなぜ起きたのか」を各グループで話し合い、「あるべき労働組合」、「あるべき労使関係」について議論を交わしました。グループ内には民主化当該単組、支援単組、グループ労組の組合員と三者三様の考えがあり、各々の立場ではなかなか聞けない貴重な意見を交わすことができ、有意義な時間となりました。

今回の研修会を通して本来あるべき労働組合、決して繰り返してはならない歴史を学び、JR総連の特異性、JR連合の正当性を再認識しました。同時に、なぜ民主化闘争が必要なのかを理解することができました。日本を代表する公共交通機関で働く私たちが誤った労働運動を繰り返しては、JR産業に明るい未来はありません。今後のJR連合を担う私たち青女世代は民主化闘争完遂に向けて、組織一丸となって取り組んでいきます。



今こそJR連合に結集しよう！！

JR連合では「facebook」「twitter」「instagram」を開設しています！アクセスしてネ♪

